

# 環境 DNA 分析及び化石情報を用いた有明海の過去環境の推定について

## 開催趣旨

NPO 法人有明海再生機構では、有明海の再生・創生を目指して、研究者による研究の重点化を提唱しようと考えています。このことは、行政ニーズの明確化や研究テーマの新たな掘り起こしを行うことで公募研究へつなげるとともに、若手研究者への貴重な情報の提供や育成にも貢献できると考えています。

今年度は、有明海の環境悪化が進む中で調査研究の成果が乏しいとされる 2000 年以前の過去環境の調査解明、また有明海環境の将来を考える上で不可欠なリスク要因への対応や有明海の魅力の再認識と継承を促す環境資本の新たな評価などを実施していきます。

7 月には「気候変動による有明海環境への影響について」のテーマで第 1 回ワークショップを開催いたしました。

今回は、近年環境の分野で応用が期待されている環境 DNA をテーマとして、第 2 回ワークショップ「環境 DNA 分析及び化石情報を用いた有明海の過去環境の推定について」を開催し、有明海への活用を議論します。

多くの研究者の積極的なご参加をお待ちしています。

なお、10月24日には、「新国富指標を使った有明海の魅力創出と持続可能な社会の構築について」をテーマに第3回ワークショップを開催予定です。

1. 開催日 令和元年 10月6日(日) 13:30 ~ 16:30
2. 開催場所 博多駅バスターミナルビル 9階第 15 ホール

## 3. プログラム

開催挨拶 有明海再生機構 理事長 川上義幸  
話題提供

○化石情報からみた有明海干潟の環境変化

西南学院大学非常勤講師 下山正一

○環境 DNA メタバーコーディングによる有明海の魚類相調査

九州大学准教授 清野聡子

○海底堆積物コア中の環境 DNA 解析と放射年代測定を併用した過去生物相の推定

九州大学准教授 島崎洋平

○はじめての環境 DNA から、その未来像まで

株式会社生物技研 環境 DNA 担当 伊地知稔

総合討論 司会 佐賀大学教授 大串浩一郎

閉会挨拶 有明海再生機構 副理事長 小松利光



参加費：無料 ※参加希望の方はメールで申し込みください。

申し込み先

NPO 法人有明海再生機構

電話 0952-26-7050

Mail : npo-ariake@ceres.ocn.ne.jp